

## 第6学年 社会科学習指導案

### 1 単元名 「新しい日本，平和な日本へ」（東京書籍上 P142～P155）

#### 2 単元について

- 本単元は，学習指導要領第6学年の内容（1）ケ「日華事変，我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること」を受けて設定したものである。その中でも，特に本単元では，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などを取り上げ，戦後我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって生活が豊かになり，国際社会においても重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることをねらいとする。

戦後から今日につながる日本の歩みを，戦後の改革や高度経済成長を手掛かりに捉えさせることは，改革が社会に与えた影響と国民生活との関係や日本と国際社会との関係を考えたりするのに適切である。また，これからの社会を担う子供たちにとって，今日の豊かな日本の基礎をつくった国民の思いや願い，努力を知り，これからの社会が歩むべき方向を考えさせていくことにもつながり，大変意義深いものであると考える。

- 本学級は，歴史の学習に対して興味をもっている児童が多い。図書室で歴史上の人物の伝記を借りたり，自主学习で学習中の時代について詳しく調べ，まとめたりしてくる姿が多く見られる。一方で，歴史の学習に対して苦手意識をもち，歴史的事象に関する知識の定着が不十分な児童も見られ，児童の実態に差が見られる。

昨年12月の学習状況調査の調査結果では，記述の問題に対して「一生懸命解答している」という児童の割合が県の平均を上回っていた。しかし，「書き方が分からない」「どう答えてよいのか分からない」と答える児童の割合も多く，書こうという意欲はあるものの，考えたことを表現することに課題が見られた。また，昨年の6年生の調査問題を基に，本学級で事前に実態調査（平成27年6月実施）を行った。その結果，歴史上の人物の業績や事象は理解していても，人物の業績や事象間の関連が理解できておらず，「なぜそうなるのか」という意味理解までは十分できていない実態があることが分かった。また，複数の資料を関連付ける力（思考力・判断力）と考えたことを分かりやすく論述する力（表現力）も不十分であった。これらのことから，以下の視点で授業改善の手立てを取り入れることとした。

- ・単元を貫く学習問題を児童と共に設定する。
- ・児童がもった課題意識から資料を読み取る視点を示す。
- ・資料の読み取りや考えたことを表現する場において，スモールステップで段階的に指導する。
- ・「考え・まとめる」段階に，総合して社会的事象の意味を考える学習を取り入れる。

- 指導にあたっては，「つかむ」段階で，終戦直後と高度経済成長期とを写真や資料を基に比較させることで，戦後の復興が約20年でなされたことに気付かせる。その際，終戦直後の人々の思いを想像させることで，新しい国づくりについての人々の願いを考えさせる。そして，その願いが復興の過程の中でいつ，どのように実現されてきたのか疑問や予想を出させながら，学習問題Ⅰ「戦後，たった20年で日本はどのようにして発展してきたのだろうか。」を設定する。

「調べる」段階では，前単元に児童と共に作った調べる視点「国民生活」「国際関係」「政治」を基に，学習問題Ⅰについて教科書や資料集などを使って調べさせていきながら，様々な改革や国民の努力によって復興が成功していったことを捉えさせていく。その際，一つの事象について複数の資

料を提示したり，選択させたりして，読み取った事実を関連付けて，当時の様子を考えさせていく。このようにして，複数の資料を関連付け，考えたことを記述する力を付けていきたい。また，急速な復興の弊害として公害などの問題が発生したことを，一人一人が発見できるような資料を提示することで，新たな疑問をもたせ，学習問題Ⅱ「これからの日本はどのような国を目指していけばよいだろう。」を設定する。

「考え・まとめる」段階では，学習問題Ⅱについて，今の日本が抱える課題について，自分なりの考えをもたせていきながら，今後の日本が進むべき方向について考えていくきっかけになるようにしたい。

また，本単元では，ワークシートの形式をそろえ，児童の言葉で一人一人にまとめを書かせることに取り組みさせる。そうすることで，少しずつ書くことへの抵抗感を減らし，理解を深めさせるようにしていきたい。さらに，単元最後にはこれまでまとめたことを使って，学習問題の答えを一人一人が自分の言葉で表現できるようにしていきたい。

### 3 単元の目標

日本国憲法の制定，オリンピックの開催など我が国の戦後の歩みを調べることを通して，戦後，我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるとともに，平和で民主的な国家の一員として，これからの日本の課題やより良い発展について考えるようにする。

### 4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○我が国の戦後の歩みに関心をもち，進んで調べようとしている。	○我が国の戦後の歩みについて，学習問題や予想，疑問，学習計画を考え表現している。	○資料を活用して，戦後改革や日本国憲法の制定，国際社会への復帰，東京オリンピック，産業の発展などについて必要な情報を集め，読み取っている。	○戦後，我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。
○平和で民主的な国家の一員として，日本の課題やより良い発展について考えようとしている。	○戦後，我が国が民主的な国家として出発したことや国民の不断の努力，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて考え，言語などで適切に表現している。	○調べたことを年表やノート，ワークシートなどにまとめている。	○自分たちの生活の歴史的背景を理解している。

## 5 単元計画（全7時間 本時1/7）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	主な評価(・)評価の観点【】	時配
つかむ	○終戦直後の資料を基に、当時の人々の思いを考える。	○資料から終戦直後の日本人々の思いがどんなものだったのかを考えさせる。	・我が国の戦後の歩みについて関心をもち、進んで調べようとしている。【関】	1 本時 (1/7)
	○国民の思いや願いが戦後何年で達成されたのかを予想し、疑問を出し合い、学習問題Iを考える。	○どのようにして復興を果たすことができたのか予想をさせる。 ○生活水準が戦前に戻るまでに10年間、GDPが世界2位になるまでに20年間という事実から、何があったのか疑問をもたせる。	・我が国の戦後の歩みについて、学習問題や予想、疑問を考え表現している。【思】	
	戦後、たった20年で日本はどのようにして発展してきたのだろう。(学習問題I)			
調べる	○民主主義国家を目指して戦後改革がどのようにして進んだのかを調べる。	○戦後改革でどのようなことが行われたのか、資料を基に読み取らせる。 ○戦前の日本の様子と比較させることで、民主主義国家として大きな変化があったことを読み取らせる。 ○学習問題解決への意欲を高め、知識を定着させるために、調べて分かったことを基に、学習問題Iに関する自分なりの考えをワークシートに記述させる。	・調べたことを年表やノートワークシートなどにまとめている。【技】 ・資料を活用して、戦後改革や日本国憲法の制定について必要な情報を集め、読み取っている。【技】 ・戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。【知】	1
	○どのようにして日本が国際社会への復帰を果たしたのかを調べる。	○サンフランシスコ平和条約の調印による主権の回復、国際連合への加盟による国際社会への復帰について当時の世界情勢とともに整理していく。 ○学習問題解決への意欲を継続させ、知識を定着させるために、調べて分かったことを基に、学習問題Iに関する自分なりの考えをワークシートに記述させる。	・調べたことを年表やノートワークシートなどにまとめている。【技】 ・資料を活用して、国際社会への復帰、産業の発展などについて必要な情報を集め、読み取っている。【技】 ・戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。【知】	1

調 べ る	○東京オリンピックの開催，高度経済成長の様子について調べる。	○東京オリンピックの開催，それに伴う高度経済成長によって日本の経済力が大きく高まったことにより，GDPが世界2位になったことを読み取らせる。  ○学習問題解決への意欲を継続させ，知識を定着させるために，調べて分かったことを基に，学習問題Ⅰに関する自分なりの考えをワークシートに記述させる。	・調べたことを年表やノートワークシートなどにまとめている。【技】 ・資料を活用して，国際社会への復帰，東京オリンピック，産業の発展などについて必要な情報を集め，読み取っている。【技】 ・戦後，我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。【知】	1
	○公害や環境問題の発生について知り，戦後の復興が日本にもたらした影響について考える。	○東京オリンピックの開催，それに伴う高度経済成長による弊害として，日本各地で公害などの環境問題が発生したことを知らせる。	・戦後，我が国が民主的な国家として出発したことや国民の不断の努力，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて考え，言語などで適切に表現している。【思】	1
考 え  ・ ま と め る	○調べたことを基に，学習問題Ⅰをまとめ，学習問題Ⅱを設定する。	○戦後の復興を果たした我が国が直面する課題について，新聞記事から読み取らせる。	・平和で民主的な国家の一員として，日本の課題やより良い発展について考えようとしている。【関】	1
	これからの日本はどのような国を目指していけばよいだろう。（学習問題Ⅱ）			
	○日本が今抱えている課題について話し合う。 ○今の日本が優先して取り組むべき課題が何かを考える。	○一人一人が，自信をもって自分の意見をもてるように，グループでの話し合い活動を行わせる。	・戦後，我が国が民主的な国家として出発したことや国民の不断の努力，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて考え，今後の日本の課題について自分の考えを表現している。【思】	1

## 6 本時の目標

複数の資料から分かることや疑問に思うことを関連付けながら、学習問題を考え、視点（国民生活、政治、国際関係）を基に学習問題に対する自分の予想を立てることができる。

（社会的な思考・判断・表現）

## 7 展開（全7時間 本時1/7）

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 前単元の学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。〈学級全体〉	○意図的に児童を指名し、前単元のまとめの文章を読ませることで、前単元の学習内容を確認する。 ○終戦時、空襲で全国的に被害を受けていたことを視覚的に捉えさせるため、1945年の終戦直後の日本各地の写真を提示する。これにより、本単元の学習に見通しをもたせる。
めあて 学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう。	
2 終戦直後の資料を基に、当時の人々の思いを考える。 (1) 資料から当時の国民の思いや願いを予想し、付箋に書く。〈個人〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【予想される児童の反応】 ・校舎で勉強したい。 ・おなかいっぱい食べたい。 ・ちゃんとした家に住みたい。 ・平和な世の中になってほしい。 ・お金がほしい。</div> (2) 個人で考えた当時の国民の思いや願いを全体で出し合う。〈学級全体〉	○活動の見通しがもてるように、1枚の資料を提示し、当時の国民の思いや願いを自由に考えさせていく。 ○資料の読み取りへの意欲を高め、資料から疑問をもつことができるように、児童の予想に対して追加の発問を行っていく。 ○書くことへの抵抗を減らすために、思いついたことを自由に付箋に書かせ、資料に貼らせていく。 ○終戦直後の様子について考えることができるように、思いや願いを出させた後、その根拠を問い直す。 ○当時の国民の思いや願いが現代の世の中で達成されているのかどうかを考えさせることで、戦後70年という期間を大まかに捉えさせる。
3 国民の思いや願いが戦後何年で達成されたのかを予想し、疑問を出し合い、学習問題を考える。〈学級全体〉 (1) 東海道新幹線開通の写真がいつのものかを予想する。  (2) 1964年であったことを知り、疑問に思ったことやもっと調べたいことをワークシートに記述し、出し合う。	○戦後の復興が早かったことを実感させるために、現在の町の様子に近い東海道新幹線開通当時の写真を提示し、写真がいつのものかを予想させる。 ○年表を遡りながら、クイズ形式で予想を出し合わせることで、時間の長さに着目させる。 ○正解を知っている児童がいることが予想されるため、必要に応じて、児童の判断を揺さぶる発問をする。 ○正解を告げることで、日本の復興・発展（1960年代の高度経済成長）が戦後約20年であったことからの驚きや疑問の声を取り上げ、その理由について問い返す。これにより、児童が疑問に思うことやもっと調べたいことを考えやすいようにする。また、それらを発表させることで、追究意欲を高め、児童の言葉を使って学習問題Iを設定する。
学習問題I 戦後、たった20年で日本はどのようにして発展してきたのだろう。	
4 学習問題に対して予想し、自分の考えをまとめる。〈個人〉	○これからの学習の見通しをもたせるために、学習問題に対する予想を、前単元「長く続いた戦争」での学習の視点（国民生活、政治、国際関係）を基に記述させる。【評価】 ○各自が書いた振り返りについて学級全体で話し合い、これからの学習についてまとめる。

### 8 本時の評価

評価規準	複数の資料から分かることや疑問に思うことを関連付けながら、学習問題 I を考え、視点（国民生活、政治、国際関係）を基に学習問題 I に対する自分の予想を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	学習問題 I について、2 つ以上の視点から戦後復興の要因を予想し、記述している。	学習問題 I について、1 つの視点から戦後復興の要因を予想し、記述することができる。	(B) に達していない記述
→(B), (C) と判断した児童への支援		→他の視点からも考えてみるように、声かけをする。	→板書や視点を基に、前単元の学習を想起させる問い掛けを行い、予想を促す。
評価方法	ワークシートの記述		

### 板書計画

